

## 教育委員会

**議員** A L Tは今日まで語学授業で外国人に慣れるということ、実施されてきたが、総括的にどのような効果が出たと考えているか。

**教育長** 脊振中学校1年生が英会話暗唱大会で佐賀県1位を受賞。発声発音については非常に効果を得ているところである。

**議員** はんぎーホールで壁の欠損事故があったが、その後の経過はどのようになっているか。

**管理係長** 清水建設には補修工事をしていただき、今のところ順調に経過している。再度の崩落等はあっていない。

**議員** 小学校に野球やバレーボール部があるが、今、放課後や土・日曜の指導で弊害も聞くが、学校側として教育委員会としてどのように指導してきたのか。

**教育長** 学校教育の一部としての部活動と社会教育としてのスポーツ、小学校ではスポーツ少年団がある。学校教育における部活動はそれぞれ日没までには家に入るということを大原則にして、保護者に連絡し行っていない。教育委員会としては、土日2日連続の練習は禁止という形でお願している。

スポーツ少年団は週4日練習が原則になっているが、指導者が5時過ぎから来られて、7時や8時まで指導というのが現状。スポーツ少年団の指導者に年度当初の話し合いの折りに正常化をお願いをして、発育段階に応じたスポーツをきちつと決めたいと思う。



決算委員会現場視察（神崎駅前駐輪場）

## 産業経済常任委員会 行政視察研修

産業経済常任委員会は、「農事組合法人（ふき村）・農事組合法人（広瀬台営農組合）の運営及び活動等について」を研修目的として、去る10月20日に、「大分県豊後高田市役所」、「杵築市広瀬台営農組合」を研修いたしました。

豊後高田市の「農事組合法人ふき村」は3集落1農場方式のふき地区営農組合が設立され、組合員68戸、農地22.7ヘクタールを借り受け、アイガモ水稲同時作を導入、女性部会では農産物加工直売所（蓮華）で特産品「ぶんご合鴨飯のもと」「鴨ねぎみそ」を開発、市の特産品となって、農家所得や生産意欲の向上につながっています。

次に杵築市「農事組合法人広瀬台営農組合」については、この組合がある下本庄地区は、八坂川の氾濫により度重なる水害に悩まされ続け、平成5年から農村振興総合整備事業により、八坂川河川改修と同時に大規模区画圃場整備事業に取り組み、平成6年に換地委員会が設置され、大区画の圃場・低コスト稲作の調査が行われ、平成10年には地域営農システム確立事業に取り組み、平成11年12月に特定農業法人に認定されています。組合の経営方針は農地の大規模集積、農地利用率200%、作業の効率化・低コスト化、耕畜連携による地力向上に取り組んでおられます。

神崎市においても、法人化の目標（平成23年度）を達成するためにも、今回の研修を参考に取組んで行きたいと思っております。



杵築市広瀬台営農組合の圃場整備視察の様子